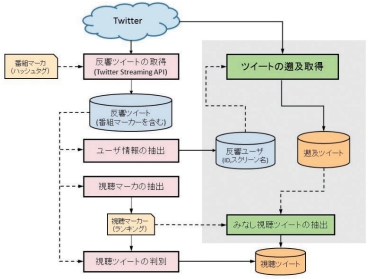
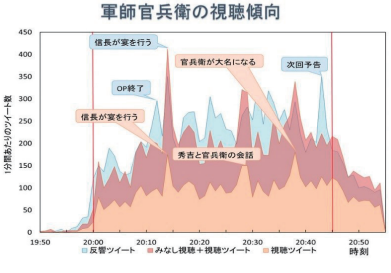
反響ツイートを利用したテレビ視聴傾向の評価手法

研究概要

テレビ番組や映画を視聴しながら実況や感想をツイートする視聴者が増えている。この反響ツイートをリアルタイムに判別して観察できれば、視聴者が反応している役者やシーンなどの視聴傾向を番組中に把握することが可能である。この視聴傾向を高精度で得るためには、反響ツイートの網羅性を維持しながらノイズツイートをうまく除去する必要がある。本研究では、ハッシュタグで取得した反響ツイートから番組のトレンドワードを抽出し、これを視聴マーカとして利用することで、視聴者と反応ポイントの絞り込みを高精度で実現するための手法を提案している。また視聴マーカを用いたツイート検索機能を併用することにより、ノイズツイートの影響を抑えながら視聴者の網羅性を維持できる番組評価システムを開発している。



実験システムの構成



視聴傾向の評価事例

ストリーミングAPIと検索APIを併用したツイート収集システムを実装しており、指定地域で発言したツイートや視聴マーカを含むツイートをリアルタイム収集している。このシステムを利用して、番組セッション中のツイート数と視聴者数の推移を視覚的に観察するための実験システムを開発している。

今後の展開やメッセージ

テレビ番組の視聴率とツイート数については一定の相関性があることが確認されています。本研究では番組の内容とツイート数の関連性について、評価指標の開発も含めて検討しています。視聴率はカウントのみですが、ツイートには文書が付いています。特定のシーンや役者の演技に対する視聴者の反応ポイントを把握して、そのダイジェストをツイート本文から自動生成する研究を進めます。

研究者情報

阿部 倫之 准教授･工学博士

工学部　情報工学科

所属研究所：情報技術AI研究所

金沢工業大学情報処理工学科卒。同大学大学院工学研究科博士課程(情報工学)修了。(株)日立製作所情報通信事業部ソフト技術センター。1991年本学助手就任、講師、助教授を経て起業。2012年本学准教授就任。

研究者情報URL

http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RBCABB.html

Keyword

ソーシャルメディア／ツイッター／Web情報学